

【調査研究事業】

No.	実施事業者	実施概要
1	札幌商工会議所	【「夜間観光サービス」開発事業】 札幌市内の商業・サービス消費を拡大するため、インバウンドと地元客で賑わう市内商店街を拠点として、夜間から早朝の時間帯におけるエンターテイメント等の商品・サービスを発掘し、札幌観光のコンテンツを商品化し、新たなブランドを構築する。
2	稚内商工会議所	【「日本最北端わっかない特産品開発プロジェクト」】 基幹産業の一つに位置づける観光産業の一層の活性化に向けて、当地の魅力を全国に訴求するため、日本最北の海と農地から獲れる素材により新たな特産品の開発を行い、誘客喚起による域外からの顧客獲得増を目指す。
3	紋別商工会議所	【JNO MOMBETSU～夏場の観光開発による観光の産業化～】 既存の観光資源の視点を変え、新たな魅力となりうるか調査をすることにより、観光地としての課題を探る。あわせて観光における経済波及効果を可視化することにより、様々な業種を巻き込んだ地域一体の観光地づくりを行うための礎とする。
4	富良野商工会議所	【富良野自然36景発掘調査事業】 これまでの夏・冬限定の観光から、滞在型通年観光確立のため春・秋の観光端境期解消を行う。これにより観光産業による地域経済波及額の増加、通年の労働力確保が可能となり、現在深刻化を増している生産労働人口の確保による人口減少の抑制を行う。

【本体事業2年目】

No.	実施事業者	実施概要
1	札幌商工会議所	【さっぽろワンハンドスイーツを核とした食べ歩き観光プロジェクト】 高い技術力を持つ札幌市内の複数の菓子店等が、北海道産食材を主原料とした“さっぽろワンハンドスイーツ”をテーマに新商品を開発し、さっぽろスイーツを食べながら観光施設めぐりや街歩きをする新たな札幌の観光スタイルを提案・創造する。
2	登別商工会議所	【「室蘭・伊達・登別魅力再発見プロジェクト」】 登別・室蘭・伊達に点在する北海道ならではの歴史的背景を持つ地域資源を有機的に結びつけることで周遊型の観光メニューを開発し認知度を高めることで、新たな広域的な観光圏を構築する。